

海
軍

	月(四)	
	日	各
	部	部
	業	業
別	宛	宛
紙	番	番
挿	本	本
挿	文	文
入		

1245

海軍省
航空本部

航空本部
航空務課

第一課

航空

航空

尚着手期日未定

航空本部
6/16.21

航空本部

一六五三一 一八〇〇 東洋受 (五九〇九) 航 本

廣工務局長

廣信者、航 本 務 部 長

受事者、身工 廠 務 部 長

航空本部

秘密第三〇〇〇 三一一一六三〇

設航空母艦新田丸ノ航空兵等ハ同型船春日丸ニ準ジ施行ノコトニ

致度至急何分ノ指示ヲ仰度。

航空本部	航空務課	第一課	航空	本
給付先	航空本部	航空務課	第一課	航空
航空本部	航空務課	第一課	航空	本
航空本部	航空務課	第一課	航空	本
航空本部	航空務課	第一課	航空	本

海軍

0

Y-D
C

10
10

一六六二一五二七 東通受 (二三三) 航本・建築
準備

受信者、南航空隊設立委員長

着信者、航本總務部長

受報者、建築局長・佐工廠造兵部長・馬公參謀長・馬公建築部長

機密第二卷 二一四〇〇

新竹航空隊司令部於本年四月一日ニ竣工ノ件ニ關シ馬公建築部長ト打合
ノ結果建築職員不足ノ爲同隊司令部設計並ニ資材準備ハ現在進捗シ居ラ
ザル爲開隊ヲ八月一日ニ竣工セザル程度本案到底四月一日開隊ハ不可
能ナルモ訓練用トシテ本隊設ノ士官舎二棟兵舎三棟並ニ官舎等ヲ四月
末迄完成可能ノ見込ハ無線受信機設置ノ儀ハ假設トス但シ之ガ
爲至急有線建築技術員一名夜手三名ノ補充ヲ要ス尙建築資材中セメン

入手本當ニテ檢査ヲ要ス

03 海軍

航本
16.6.-3

(花時約)

1247

陸軍本部 津總務部



午後二



至急

一六六三 一五二二 東通受 (四三七) 航

本

發信者、第三艦隊參謀長

着信者、航本總務部長

受領者、
五洲製鋼會社・大浦製鋼會社
第一機務地隊司令官

機務第一五〇番電

五一一四四〇

					學配付先
				給養課一	
				給養課一	
				教育部	
				技術部	
				補給部	
				二	

今次特別行動中長良長船名取九四式二艘本債ノ整備ノ爲同機一機ヲ
保管機トシテ佐世保ニ於テ第一機務地隊ノ一艦ニ搭載致度ニ付然ル
レヲ御取附相成度。

海軍

航空本部 濟務部 濟務部 第一號



一六六四一八一九 東遜受 (六八六) 航本・艦政

發信者、應 航空司令

發信者、 航本總務部長
艦政總務部長

受領者、 佐軍需部長

機密第五二九番電

第一一七二〇

機密子

管艦ニ供給ナルハキニ式無線歸投方位測定機一二組至急應艦砲送付ヲ
得度*

						季配付先
	補給部	技術部	教育部	給務部	給務部	艦政

レンド 海軍

航空本部
總務部

第一課



手配



一六六五 一四二〇 東通受 (八九一) 航 本

受領者、 航空本部 局長、 航空技術課長

受領者、 航空司令、 大阪航空長

後寄第七六一番電

五一一一三〇

秘
暗
号

一式機上攻撃機(〇六)用推進「プロペラー」運轉機軸承受滑座取換
セルモノニ七件ニ達セリ右ハ主トシテ滑座ト運轉軸トノ關係及ビ機
體構造ノ不良並ニ運轉機軸構造ニ起因スルモノト認メラルルヲ以テ
茲ニ研究対策ヲ講ズルノ要アリト認ム。
「運轉機軸」大阪航空長へハ郵電済

配付先	年数	送付票	送付票	教育	技術	補給

航空

海軍

航空本部

總務部

第一課



先例ナキ事故ナリ
所度調査スルニ付
金計
取. 6. 6
不



第十信課

航本
16.6.26

至急

一六六六一二二〇

東通受

(一〇八〇)

航

本

發信者 第五番隊司令官

着信者 航空本部 長・佐工隊長・佐軍需部長

受報者 第二番隊 隊長

航空本部 第五九四番隊

六一〇三〇

配付先	給配課	教育課	技術課	補給部
〇	〇	〇	〇	〇

羽黒五日上佐機ニ於テ零式水偵（燃料漏洩）洋上墜破中機テイクル機
 （使用力因至）切斷シ飛行機ヲ落セシニ儘ニ速ニ現用ノ機テイクルヲ
 ニ強力ノモノニ取換ヘル機取計ヲ得度
 切斷セシ機機ハ材質不良ノ點認ノラレズ。

DB 海軍

A 4

1251

航空本部 濟 總務部

第一課



平配ス之

(永盛部) (空技部第一)



第十信課

一六六六一二三五 直通受 (一〇八五) 本

兼備考 統本總務部長

兼備考 第一航空監察部長

秘暗號

機密第三九七番電

六一一一三〇

					掌
	補給部	技術部	教育部	給養課	配付先都教

主キ 然林ニ付之 意隊聴取、各務所部之立派、付
貴機密第七六八番電ニ關聯シテ 兼備考 機密第三九七番電ノ爲主 兼備考 第一航空監察部長

→ 添送方取計ハレ度。

0

DD 海軍

A 4

1252

航空本部 濟 總務部

第一課

手配

航空本部

航空本部
19.6.27

一六六六一二四七 東通受 (一〇八六) 航本・艦政

發信者、第十二航空隊司令

着信者、航本總務部長
艦政總務部長

受報者、二十二航戰參謀

軍極秘暗號

機密第五〇八番電

六一一〇〇〇

中 文 航空機機密第三〇〇五 號ノ一三六ニ依ル貸與陸上偵察機ニハ無添裝

置(九六式空一號無線電話機(前席ニ裝備シ操縦者ニテ使用)同空一
號無線電信機)完備ノコトニ取計ハレ度。

									奪配付先部数
	補給部	技術部	整備部	経理部	総務部	衛生部	給食部	洗濯部	1
	1	1							

シンB 海軍

1253

航空本部

總務部

第七一七五〇

東通受 (一三六六)

航本

第二航隊司令部

本

本

航空本部 總務部 第七一七五〇 東通受 (一三六六) 航本 第二航隊司令部 本

航本 16.6.8

着信者、航本總務部長

受報者、航空技術隊長・横須賀航空隊司令・第一航空艦隊隊長

機密第四六九番電

七一〇〇〇

當隊供用中ノ零式戦闘機使用時數概々五〇時間以上ノモノ主翼上面前
後桁間外飯肋骨間ノ「ストリンガー」兩端無部ニ於テ空戰訓練中ノ主
翼曲曲甚固スト配ノラル小銀裂ヲ生ジ其ノ部位後銃中心線附近ヨリ
使用時數ノ増加ト共ニ漸次外方ニ移行日ノ丸ノ部ニ及ブモノスタアリ
又下面十、十二肋骨間前桁ヨリ前方外飯ノ金大ニシテ飛龍ノモノハ佐
世保海軍工廠ニテ補強ヲ施シアリ何レモ蓋當リ現期限内ノ使用ニハ蓋

配付先部	一
給付部	一
教育部	一
技術部	二
補給部	一

海軍

1254

支ナキモノト認ムルモ現用機ハ使用時數二〇〇時間程度ニテ引換ヲ行
フト共ニ新造機ニ對シテハ至急外銀ノ強度増加對策ヲ講ズル要アリト
認ム。

海
軍

2

航本
16.6.8

1255

航空本部

總務部

第一課

二十二年航戰司令官

一六六九 一六一二 東通受 (一六七二)

軍令・軍務
兵備・航本

航本
16.6.10

航本總務部長・支那方面總務官

軍務局長・兵備局長・軍令部一部長

航空技術廠長・佐軍需部長・一遣支參謀長

機密第七六四番電

九一四〇〇

					警
					先
					部
					数

1256

榮發動機附陸上偵察機ニ就キ長時間飛行ヲ除キ試験飛行ヲ實施セル

結果上昇飛行「フースト」零筒温二二〇度以内(地上氣温三〇度)

巡航時一九〇度乃至一七〇度(地上氣温三〇度)發動機ノ状態良好

ニシテ當方トシテハ實用可能ノ見込ナリ

二營隊機密第七二一番電及第七四三番電ニ關シ至急御配慮ヲ得度。

DB

八分附態備員二〇名(第七三) 臨時 搭乗員二有経験者ナリ

至急

受領者

陸軍省
陸軍部
陸軍省
陸軍部
陸軍省
陸軍部
陸軍省
陸軍部
陸軍省
陸軍部

42
10
1428
11862

大要
陸軍省
陸軍部

(花時)

航本
16.6.1

軍極秘暗號

受領者、大演工作部長・大演航空隊司令

機密第四九九番電

一〇一三二〇

大演航空隊司令と昭和十四年三月二十日官廳機密第一五九二號訓令と同一要領ノ機中飛行訓練實施セシメラルニ就テハ同訓令ニ付テハ無難ニ次記ニ依リ大演工作部ヲシテ至急施行方針取計ヲ務メテ場所 北海道厚岸及樺皮(各一箇所) 馬所要兵器 同隊供用兵器充當(供用兵器不要) 馬所要燃料 概定量第一〇〇〇〇圓(空機)。

海軍

1257

航空本部 濟 總務部

一六六一一 一六三八 東通受 三〇七一 航本

發信者、高雄航空隊司令

着信者、航空本部總務部長・航空總務課長

受報者、横須賀航空隊司令・二十三航隊司令官

極秘暗号

機密第七七八番電

一一一三三〇

一式陸上攻撃機火屋發動機一型燃料ポンプ附屬燃壓調整弁空金使用
 時業一乃至四五時間ニシテ龜裂ヲ生ジタルモノ既ニ四件ニ達セリ對
 策ヲ要スルモノト認ム

					機
	補給部	技術部	教育部	陸務部	配付生
	一	二		一	一

1258

海軍

航空本部

總務部

第一課



第電
十信
課課

航本
16.6.15

一六六一四 二二二七 東通受 (二六〇五) 航本

着信者、航本總務部長

機密第六五二番電 一四一九一〇

着信者、支那方面局長

航本機密兵整第四二三編ニ依リ國民政府へ機密決定ノ航空兵器ニ左ノ
通り追加方取計ヲ得度。

一、航法關係

(一) 備流測定器一 (現機体ノ航機ニテハ航式備流測定器ヲ整備ハ可能
ナルヲ機体備流測定器ハ機体ノ改造ヲ要ス)

(二) 航法計算器二型一

(三) 三角分度器一

二、發動機關係

一、補給部

					季配付先
	補給部	技術部	教育部	機務課	機務課
	三				

航空

海軍

A 4

1259

Y-D
①
覽
夜

一六六 六六一 五五 一〇四二〇七 東通受 (二六三三六) 航 本

發信者、第四艦隊參謀長

着信者、航空本部總務部長

受譯者、吳廠電氣部長・ウオツチエ吳工派遣員(六防氣付)

軍極秘暗號

機密第三一五番電 其ノ三 一四一三二一〇〇

マウオツチエ航空燈臺燈器中心ノ地表上ノ高サ一一、二米ニ計畫セラ
レアル所附近椰子林ノ高サ一五乃至二〇米ニシテ遠巨離ヨリノ視認
ヲ妨グルコト大ナリ(航空燈臺ハ水平面以上ニ障害物ナキヲ絶對要
件トス)同燈臺ハ送信所屋上アリテ椰子ノ伐藪ハ送信所建物秘匿上
不利ナルヲ以テ同燈臺ヲ高サ二五米以上(林ハ一般ニ、二五程度ニ
達ス)位置ニ裝備スル様計畫變更方取至急取計ハレ度
ニ右ニ關聯シ各地航空燈臺ニ付計畫再檢討アリ度。

D B
海 軍

航本
16.6.16

1260

總務部第一陣



午既スニ但レ月末迄ニ



準備可成ル見込調査ナリ



一六六一六〇四五五 泉通受 (二七八三) 航

着信者、 航本總務部長。航空技術廠總務部長
 發信者、 第一航空艦隊長

機密第三八五番電

↓
 機密第四八三九號ニ依ル艦隊用機機式照準機五〇個當艦隊用ト

シテ作製ノ上配給アリ度

尙右ハ六月下旬横須賀入港ニ際シ受領シ得ル如ク又要改造工事モ同時機ニ實施ノコトニ取計ハレ度。

補給部	技術部	教育部	總務部	總務課	總務課	配付先
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

海軍

1261

航空本部 總務部

第一課 一六六 一八三〇

取通受 (三二三九) 航空本部

着信者、航空本部 總務部長

受領者、陸軍總務部長・航空本部 航空技術教育部長

秘密

機密第二六〇番電

一八一六五〇

當該中瀧攻隊機(五機)ノ式無敵機被機置至急整備ヲ要スルニ付工員派遣方御座ルヲ得度

十九日〇九〇〇陸軍海軍航空隊發一三三〇機空機工員中瀧攻隊機便(一機)ヲ發定ス。

陸軍

記付	陸軍	陸軍	陸軍	陸軍	陸軍	陸軍	陸軍	陸軍	陸軍
補給	技術	教育	陸軍	陸軍	陸軍	陸軍	陸軍	陸軍	陸軍
三									

1262

Y B D

一六六一九一二〇五 東通受 (三三六八) 航兵軍

本備務官房

(12) 117 110

航兵備務部長

鎮要參謀長



機密暗號

機密第二九六番電

一九一〇〇〇

1264

本年二月二十五日鎮要機密第十六號ノ二四ヲ以テ大艇基地候補トシテ通報セル麗水方面ニ最近陸軍ニ於テ「船舶中隊」新設ノ計畫アルヲ聞知セリ同基地ハ海軍ニ於テ是非先ニ確保シ置クノ要アリト認メラルヲ以テ土地買収等速ニ着手シ得ル様手配相成度。

D B

航空本部

總務部

第一號

六六七一 一八一三

東通受

(海陸八五六)

航

本

發信者、若 龍 艦 長

着信者、航空本部總務部長

受報者、航空技術廠總務部長

機密第一九番電

二一〇一五〇〇

本艦對定制止裝置支柱常用多組ノ外補用一組ヲ受入居タルトコ口數
 度ノ飛行機着陸ノ爲右支柱ハ全部風曲セルヲ以テ六月三十日横濱
 賀入港ノ際着陸機又ハ交換スル外今後ノ整備トシテ更ニ二組(合
 計五組)ノ受入(費用)ニ關シ手配ヤレ度。

補給部	技術部	教育部	陸軍部	海軍部	陸軍部	海軍部	陸軍部	海軍部	陸軍部	海軍部
三	一									



海軍

航空本部

總務部

第一課

第四

横濱市東区

航空本部

至急

一六六二二一九二三 東込受

発信者、

航空本部副官(鹿屋空気付)

着信者、 航本總務部部長

受報者、 名古屋監修長(鈴鹿空気付) 横軍需部鈴鹿支庫

秘密

機第二八四番電 二二一八〇〇

一式陸上攻撃機排氣管龜裂大破修理不可能ノモノ四組ヲ生ジタリ演習並ニ移動上急速整備ノ必要アリ明二十三日飛行便ヲ設定スルニ付鈴鹿航空隊ニテ四組受領シ得ル様手配アリ度。

本

補給部	技術部	教育部	給養部	給食部	配付先	部数
二	一					

16.6.28

1266

シ ン 海 軍

航空本部

總務部

一六六

二三

〇四四五

東通受

(四一〇一)

航

本

4月2日

16.6.24

受信者、第一航空隊隊長

受信者、航本総務部長

受報者、横・佐各軍需部長・加賀艦長・吳防司令

秘暗号

秘密第四四一番電

二二二二二二〇

左記ニ對シ横須賀在泊中ニ代被補充方手配アリ
 一機着陸時大破飛能一機着陸時海中ニ墮落亡失同一機使用時一三四
 時間ニシテ主翼上面ニ鋭子生ジ使用上不安アリ
 九九式艦上爆撃機加賀一機不時着水沈没
 九七式一號艦上攻撃機加賀一機着陸時中破。

海軍

	補給部	技術部	教育部	給養部	給水部	給油部	給薬部	給食部	給被部
	二	一							

1267

航空本部 濟總務部 各別配布

至急

一六六二五二〇四九 東通受 (四六四六)

航本 總務部長

佐 官 需 部 長

領 海 軍 需 部 長

航本 16.6.26

秘密

機密第一三一番電

二五一一八〇〇

六番通常爆彈二型 一五〇個

七耗七機銃用徹甲彈藥包 二〇〇〇〇箇

燒夷彈藥包五〇〇〇

至急補充方取計相成度 (飛兵)。

辛 D

1268

航空本部 総務部 第一課



六六 二六〇〇五四 東通委 (四六七九) 航本

發信者、佐世保航空隊司令

着信者、航空本總務部長

受報者、航空技術廠長・佐領參謀長

機密第九一九番電

二五一一七〇〇

軍極秘暗號

一五式飛行艇ハ老朽ノ爲故障頻發六月十八日渡邊襲置破損六月二十五日フロバヲ軸切損等ノ事故ニ鑑ミ今後ノ使用ニ不安アルヲ以テ使用停止ト致度尙九一式飛行艇ハ昨年度ノ事故竝ニ其ノ後ノ成果ヲ見ルニ初步訓練用トシテ必要ニ付一五式飛行艇ノ代機トシテ九九式飛行艇六隻與方至急補取計ヲ得度。

十三式小艇出現(本年十二月頃)迄ハ現状ニテ思ハサルハカサガレモトナリ、東港空信團機ヲ取止ガザレバ事件要望ニ別ヒ得ズ、實情中史トシテモ精細調査上処理スルコト致ス



D B 海軍

1269

馬場湖樓五樓第九回八號左側面「タンタ」前面湖流ス。

海
軍

電
信
課

A 4

1271

航空本部

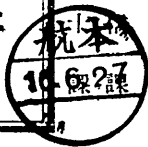
總務部

第一課



艦本ニ申入ス

第電



報電秘極

一六六 二七〇五二五 東通受 (四九三二) 航本

發信者、第二航戰司令官

着信者、航本總務部長

受報者、横軍需部長・飛龍艦長

機密第五一二番電

二六一二〇〇〇

七月初頭蒼龍及飛龍供給豫定ノ九一式改二魚雷各一〇本ハ艦隊訓練ノ
實狀ニ鑑ミ定數増加(三六本)供給又ハ貸與供給ノコトニ取計ハレ度
尙横須賀在泊日數僅少ニ付各艦供給豫定魚雷ハ豫ノ實用頭部嵌合試験
實施方然可ク手配アリ度。

海軍	航空	陸軍	海軍	航空	陸軍	海軍	航空	陸軍	海軍	航空	陸軍
配	補	技	教	給	術	育	給	術	育	給	術
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二

A1B

1272

海軍